

仙語 仙文學

32

関西大学
フランス語フランス文学会

2006

目 次

A.カミュの『反抗的人間』 <i>L'Homme Révolté</i> 再評価	平田 重和 (1)
Bouhours, Doutes sur la langue françoise で 問題視された名詞の性	伊藤 誠宏 (19)
Les contacts entre la France et la Chine au XVIII ^e siècle ——Voltaire et la question des rites chinois——	Shioko SASAKURA (39)
セリーヌ的反ユダヤ主義 ——その特殊性をめぐって	竹田 悠 (59)
中世古典ファルスと狂言の比較 ——形成の歴史と演劇としての特質——	小澤 祥子 (75)
デタロンド事件とヴォルテール ——十八世紀フランス法体系と寛容——	渋谷 直樹 (95)
会員の活動報告	(117)
後 記	(122)